

【教育目標】 生き生きと輝き合う児童の育成

<目指す児童像>

かしこく (意欲的に学ぶ子)

やさしく (思いやりのある子)

たくましく (根気強くけじめのある子)

<指導の重点>

確かな学力

- ・よく分かり、よくできる授業づくり
- ・自分の思いや考えを表現する力の育成
- ・読書活動の充実

豊かな心

- ・認め合い、高め合える集団づくり
- ・自他ともに尊重し合う心の育成
- ・児童理解と教育相談の充実

たくましい心と体

- ・目標に向けた組織的な教育活動
- ・社会生活に必要な習慣づくり
- ・健康的な生活習慣と食習慣づくり

※ %は学校評価目標
(児童の評価・保護者の評価)
(教職員の自己評価)

<具体的な取組>

- ・授業力向上及び組織力向上のための授業研究や実践研修を充実させる。
- ・パワーアップタイムの充実を図るとともに家庭学習の習慣化のため家庭との連携を図る。
- ・振り返りで自分や児童同士で意見や考えが対話できるよう授業改善を図る。
- ・町図書館や巡回図書との連携、家庭読書の日や読書週間の実施、図書紹介やマイブック(手元一冊)など、色々な指導の充実を図る。

- ・係活動や児童会活動、縦割り活動、集会活動など、児童の主體的で対話的な活動を学級や全校で工夫する。
- ・道徳教育、人権教育、情報モラル教育を充実させるとともに、集団遊びなどを通して人を思いやる人間関係づくりを促進する。
- ・教育相談や各種調査等で児童の思いや悩みを把握し、よさを発揮できるよう支援するとともに、不登校やいじめの未然防止に努める。

- ・学校行事や学年活動等で目標に向けた組織的な活動により達成感や協働体験を味わわせる取組を充実する。
- ・「協働・困難の突破、夢や希望の実現」
- ・社会生活に必要な習慣づくりや規範意識を全校体制で指導に努める。
- ・「あいさつ・そうじ・時間厳守・聴く」
- ・運動に親しむ活動を積極的に取り入れるとともに、養護教諭や栄養教諭と連携した健康的な生活習慣や食習慣の指導の充実を図る。

- ・授業が分かると答える児童 【90%】以上
- ・活動ですすんで自分の思いや考えを表現することができる児童 【80%】以上

- ・学校が楽しいと感じる児童【90%】以上
- ・自分のことや友達を大切にすることができる児童・学級 【85%】以上

- ・目標に向けて活動する児童【90%】以上
- ・きまりを守る、生活習慣に気をつけることができる児童 【85%】以上

目指す教師像

集団づくりのできる教師

学び続ける教師

児童の内面を理解できる教師

授業力の向上を図る教師

<業務改善のための取組>

- ・校務支援Sの活用
(連絡掲示板による共有)
(文書事務等の迅速化)
- ・会議の効率化
(終礼/部会/支援等の設定)
(タブレット提案/協議)

信頼される学校

- ・開かれた学校(情報発信、説明責任)
- ・家庭、地域との連携、協働
- ・近隣保育・小中学校との連携